

名古屋大学大学院環境学研究科・教授または准教授（女性限定）公募要領

1	募 集 件 名	教授または准教授（女性限定）の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所 属	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻地球環境システム学講座
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） [業務内容] 地球環境学専攻（地球惑星科学系、以下当系と言う）では、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、生態学の研究分野により、地球環境の過去・現在・未来の状態とその変動メカニズムを解明するとともに、地球環境システム学の研究分野により、環境問題や自然災害等の地球規模課題の解決に資する研究を行い、これらの研究を国際的に推進できる人材育成を進めています。さらに、当系の将来像として各研究分野間の連携を強化し、それらの成果を融合させることによる地球惑星科学および環境学への貢献を目指しています。 地球環境システム学講座では、当専攻（地球惑星科学系・大気水圏科学系）や他専攻の他講座と連携しながら、文理融合の環境研究・教育を進めています。地球を多数のサブシステムが統合された一つのシステムと捉え、持続可能な地球・社会をデザインする研究に取り組んでいます。様々なサブシステムを対象として、地球惑星科学と人文社会科学の手法の統合も図りながら対象にアプローチすることで、その持続可能性を診断し、処方・治療する臨床環境学的な研究を行っています。 本公募では、次の能力および資質を有する人材（女性に限る）を求めます。 ・地球環境システム学の発展に資する研究・教育能力を持つこと。 ・当講座の現教員が取り組む森林・農地／農村地域等の自然資源と人間社会を対象としフィールドワークによる持続可能な社会生態システムのデザインに関する研究教育にも意欲を持ち、当専攻の地球惑星科学系において相補的な効果が期待できる研究分野で実績と意欲のあること。 ・様々な先端解析技術手法を用いて、地球環境システムを統合的に診断し、ニーズにあわせた処方・治療を臨床環境学的な視点から提案することに取り組み、地球科学や人文社会科学の手法との統合も図りながら対象にアプローチできること。 ・当研究科が取り組んできた新しい学問分野である臨床環境学に基づいた超学際的研究・教育を、当研究科附属持続的共発展教育研究センターや、当専攻内外の教員・学生らとともに実践・発展させ、新しい環境学の構築に意欲的に取り組めること。 地球環境システム学講座 https://www.eps.nagoya-u.ac.jp/~geosys/ 当専攻地球惑星科学系 https://www.eps.nagoya-u.ac.jp/index_gs.html 当研究科附属持続的共発展教育研究センター https://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/ [担当授業科目] 1) 大学院 ・修士課程 環境学フィールドセミナー、*資源・エネルギーの環境学

		*持続可能な地域づくり実践セミナー、地球環境システム学セミナー 注) *印は着任後にタイトル・内容を変更可能 ・博士後期課程 臨床環境学研修、SDGs 基礎セミナー、地球環境システム学セミナー 2) 学部 地球環境学、地球惑星科学特別研究、 3) 全学教育 地球惑星科学の最前線、地球科学実験 (変更の範囲) ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 教授または准教授(女性限定) 1 名	
		[着任時期] 2027 年 4 月 1 日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	環境学、農学、数物系科学
		小分類	環境保全学、社会経済農学、森林圏科学、地球惑星科学
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり(採用日から6か月)	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細] ・博士の学位を有すること。 ・女性であること。(「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施するものです) ・環境学およびそれに関連する研究分野において、優れた研究実績を持ち、当研究科の教員と連携し、分野横断的研究の推進に貢献できること。 ・国際的な連携研究の実績と意欲があること ・当研究科の中長期ビジョンである地球規模課題への対応と新たな知の創造に貢献する研究を行えること。 ・大学院および学部の教育(実験・野外実習等を含む)および当研究科附属持続的共発展教育研究センターの活動を行えること。 ・教育・研究指導を日本語で行える能力を持つこと。ただし、応募した時点においてその能力がなくとも5年程度以内に前述のレベルに達すること。 その他 ・着任後に教育や研究の場で多様性の推進に貢献する能力や意欲があること。 ・出産、育児、介護等のライフイベントを経た応募者が、それを理由とする不当な評価(例：チャイルド・ペナルティ)を受けることはない。	
8	待 遇	[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、保険等)] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。	

		https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	2026年8月3日～ 2026年11月2日
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1. 履歴書 2. 研究業績リスト（別紙様式） 3. 主要な論文（3編以内）の DOI 4. これまでの研究経過および教育実績（1000字程度） 5. 今後の研究および教育計画（1000字程度） 6. 所見を求めうる方の2名の氏名、所属、連絡先 7. 類型該当性の自己申告書（様式1） ※上記1. 履歴書、2. 研究業績リストおよび7. 類型該当性の自己申告書については名古屋大学が定める所定の様式で作成して提出すること。様式は、名古屋大学大学院環境学研究科ウェブサイトの教員公募ページからダウンロードできる。 https://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html 上記1～6の書類を1つのPDFにまとめ、7の電子ファイルとあわせて、応募期間内（必着）に下記提出先へメールで送付してください。 提出先および問い合わせ先：名古屋大学大学院環境学研究科 杉谷 健一郎 電話：052-789-4865 メール：apply-kyoju@eps.nagoya-u.ac.jp [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、電話で連絡を行う。
11	その他	・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。

	ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	---